



ほり  
堀りょういち

横須賀市議会議員 無所属

ドブ板生まれ  
根岸町在住

公式LINE



YouTube



## 横須賀ニュース TOP10

※印が付いているものは、12/2現在で審議中の案件

毎号、横須賀に関する出来事の中で  
特にお伝えしたいこと10選をお伝えします。  
詳細は堀りょういちのブログ等をご覧ください。

BLOG



### 浦賀駅前周辺再開発へ

優先交渉権者の提案概要が公開。ホテル、マンション、商業施設等総額1,000億円以上の大規模プロジェクトへ。



### ヴェルニー記念館の改修へ

ヴェルニー記念館に観光案内機能を加えるため改修へ。今後は大河ドラマを見据え小栗上野介の展示等も検討中。



### コースカ前護岸の整備

大量の漂着ごみへの対策としてダストフェンスメーカーと実証実験へ。ごみ漂着防止や回収効率UPに繋がるか。



### 貨物運送業への燃料高騰対策

これまで県が実施していた補助策を市が実施へ。その他、農畜水産業への物価高支援は継続で補助を実施。



### 誰でも通園制度がスタート

保育園等に在籍していない6ヶ月～3歳未満のお子さんを対象に、保護者の就労に関わらず、保育所等を一定時間利用できる制度が開始。



### カウントダウンが今年も開催

ヴェルニー公園でのカウントダウンイベントが今年も開催。約500発の花火と汽笛で横須賀ならではの新年が演出



### 大矢部みどりの公園誕生へ

人・自然・歴史を軸に芝生広場やレストラン、体験施設、防災施設など多世代の交流拠点へ。R10年完成予定。



### AIによる24時間365日の相談

対話型傾聴AIによる相談サービスの実証実験が開始。多言語で教育、福祉等の困難な相談に対応すること。



### さいか屋にラウンドワンが誕生

さいか屋の空きテナントにボウリングなどが楽しめる施設「ラウンドワン」の入居が決定。2026年春開業予定。



### 海自カレーがリニューアル

海上自衛隊のレシピと調理員の直接指導によって生まれた「横須賀海自カレー」が10周年でリニューアル。19店舗で新たな味を楽しめます。



# シティプロモーションで横須賀に人と投資を呼び込もう！

12月定例議会の一般質問にて、市長に提言しました。本市では観光や移住定住、農水産物など、様々な横須賀の魅力の創造・発信（シティプロモーション）を行なっています。しかし、市民を巻き込めていないこと、横須賀市全体としてのプランディングが弱いこと、効果的に横須賀の魅力発信ができていないことなどの課題を指摘しました。

その上で、私からは市民のシビックプライド（地域の誇りと愛着）を醸成するために、指標を定め、市民への分かりやすい情報発信や市民参加の促進を進めることを提言しました。さらに、現在市の各部局でバラバラに行なっている情報発信を統合して全市的なシティプロモーション戦略を作ることを提言しました。

東京23区からの転入者に市が聞き取りをした結果、観光等で横須賀に訪れる回数が多い方ほど、横須賀に移住する傾向があると分かりました。しかし現状、複数回観光に訪れる方を移住定住につなげるような仕掛けはありません。本来は観光客増を目指す部署と移住者増を目指す部署が一つの大きな戦略の下に有機的に連携し、情報発信等がなされるべきではないでしょうか。これらの提言に市長からは前向きな回答がありました。今後どう改善がなされるか注視していきます。

9月議会では子育てや教育、高齢者福祉を取り上げましたが、これらを充実させていくためには市の財政を確固たるものにしなければなりません。そのためにも、行政の無駄をなくし、市外から人や投資を呼び込むことが重要です。これからも私は横須賀の未来視点に立って、積極的に政策提言を行っていきます！ ※本質問の全文はブログにアップします。



## すべての子どもが笑って暮らせる横須賀へ

日本子ども虐待防止学会へ出席してきました。私は20代のころから毎年通っており、現場の報告や最新の研究実績を学んでいます。

子ども人口は減る一方、児童相談所の対応件数は右肩上がりに増えています。背景には警察や学校等の通報が増えたことや、面前DV（子どもの目の前での家庭内暴力）が心理的虐待として認知が広がったこと等があります。

心身の発達において最も重要な時期に十分な愛情を受けられずに育った子どもは、その後様々な生活・健康上の問題に直面するリスクが高まります。虐待を未然に防ぎ、安心・安全な子育て環境を作ることが何より大切です。

一方、近年の研究では、苦しい家庭環境で育った子でも、その声を尊重してくれる場や信頼できる大人、安心できる居場所、地域のお祭りへの参加などが逆境を跳ね返し、虐待の連鎖を断ち切るとされています。地域で子どもを守り育む活動が、子どもの生き抜く力（レジリエンス）を支えています。

子どもの声を聴く第三者機関の設置や居場所等の活動をしている民間団体への支援など、議員として訴えるべき取組みは数多くあります。私たち大人が共に手を取り合い、「地域で子どもを育てる」まちづくりを進めていくことで、すべての子どもが笑って暮らせる、そんな横須賀を目指していきましょう。



## 堀りょういちのプロフィール



- 1986年ドブ板生まれ、根岸町在住 / 妻と小学生の娘と / 故祖父はドブ板通り「堀整形外科」元院長
- 長岡こども園→汐入小学校→坂本中学校→県立横須賀高校（57期）→早稲田大学 政治経済学部政治学科
- 松下政経塾31期入塾（本市出身では初）。2年半で中退し、アクセンチュア（株）入社。  
その後、自殺対策を進めるNPO法人にて24時間365日の相談・支援に従事。
- 2019年横須賀市議会議員に初当選。現在2期目。会派「一市民」に所属（副団長）
- 冒険遊び場「よこすかプレーパーク」を設立。子どもの居場所づくりに自ら草の根で活動中。

**所属** 公郷小学校 PTA会長・大津諒訪十神連合・根岸町3丁目町内会役員・ドブ板通り商店街振興組合・本町青年会・横須賀市消防団第3分団横須賀剣道連盟・学童保育運営委員（市内3か所）他

**趣味** 剣道（四段）・ピアノ（娘と教室に通ってます）・スポーツ吹き矢・よこすかラーメン屋巡り



各種SNSは  
こちらから

